

## ●防災

石狩北部（石狩市、当別町、新篠津村）は、約72kmに渡って日本海に面しているため、冬期間は降雪量が多く寒冷な気候となり、暴風雪警報や波浪警報が多く発表されるほか、急傾斜地が多いことから、崖崩れや国道の通行止めも頻発し、警戒が必要な地域となっています。また、重要港湾である石狩湾新港の中央埠頭区域には、石油貯蔵施設、高圧ガス取扱所、石狩LNG（液化天然ガス）基地等があることから、平成18年11月、道内6番目の「石油コンビナート等特別防災区域」に指定され、さらに、平成31年2月からLNG火力発電所の営業運転が開始されています。

火災や危険物漏洩等に対する安全対策が重要な地域となっています。

石狩中部（札幌市、江別市）には石狩川が東西に走り、その流域には石狩平野が広がっています。この地域は、河川はん濫に起因する水害に加えて、札幌市の地下街・地下鉄における災害やビル火災等、都市型災害への警戒が必要な地域となっています。

また、近年はゲリラ豪雨による浸水被害も多発しており、河川改修や土砂災害警戒区域の指定促進等、治水対策が極めて重要な要素となっています。平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、札幌市東区で、管内では千歳市とともに最大震度6弱を観測し、人的被害、住家被害など大きな被害をもたらしました。

石狩南部（千歳市、恵庭市、北広島市）には、常時観測火山である樽前山があり、近隣に新千歳空港や都市圏を抱えていることから、樽前山は防災上重要な火山として位置づけられています。

また、この地域は太平洋側の気候帯に属することから、夏から秋にかけて大雨に見舞われることが多く、浸水や崖崩れ等の土砂災害への警戒が必要な地域となっています。

自主防災組織は、町内会などが中心となって組織されています。東日本大震災では、この自主防災組織の共助により助かった人が多数いることから、北海道地域防災マスターの活動などを通して、自主防災組織率を向上させることが重要です。

北海道地域防災マスターとは、ボランティアにより活動していただく地域防災のリーダーで、北海道が実施する認定研修を受講していただくことでマスターとして認定されます。石狩管内では、700名以上のマスターが、地域の防災活動に取り組んでいます。

## ●消防

消防業務は、5市1組合（札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩北部地区消防事務組合）で行われています。



石狩湾新港の石油コンビナート



樽前山山頂部



地域防災マスター認定研修会

平成30年北海道胆振東部地震指揮室  
(本庁地下1階危機管理センター)

### ■近年の主な災害発生状況

年月日	災害名	被害状況(管内)
平成30年9月6日	平成30年北海道胆振東部地震	死者3名(うち2名は関連死)、重傷者4名、軽傷者319名
平成31年2月21日	地震による被害	軽傷1名、住家被害(一部損壊16棟)
令和3年2月16日～17日	暴風雪による被害	住家被害(一部損壊2棟)
令和3年6月4日	暴風洪水による被害	住家被害(一部損壊5棟)
令和4年1月12日	大雪警報、暴風雪警報及び波浪警報による被害	倉庫・畜舎破損1件
令和4年8月8日～9日	洪水警報	住家被害(床下浸水)1件
令和4年9月6日～7日	令和4年台風第11号	軽傷2名、街路灯等の被害3件
令和5年6月11日	浦河沖地震	千歳市において震度5弱の地震

(石狩振興局地域創生部危機対策室調べ)

### ■管内の消防本部（局）

消防本部(局)名	消防署				消防団				消防水利	
	署	出張所	吏員	消防ポンプ自動車	団	分団	団員	消防ポンプ自動車	消火栓(公設)	防火水槽
札幌市消防局	10	41	1,820	64	10	72	1,721	0	17,420	775
江別市消防本部	1	3	134	4	1	9	174	6	742	176
千歳市消防本部	1	5	134	7	1	8	180	2	1,147	187
恵庭市消防本部	1	2	109	4	1	5	95	2	791	42
北広島市消防本部	1	2	103	1	1	4	108	0	539	87
石狩北部地区消防事務組合	3	3	195	4	3	32	466	6	1,659	188
計	17	56	2,495	84	17	130	2,744	16	22,298	1,455

(石狩振興局地域創生部危機対策室調べ)



胆振東部地震による被害（札幌市清田区）

## ●交通安全

令和5年の道内における交通事故死者数は131人で、前年に比べ16人増加し、管内の交通事故死者数においても前年に比べ4人多い42人となりました。

管内で発生した交通死亡事故の特色を見ると、事故類型別では、人口密度が高いため歩行者や自転車が車両に巻き込まれる事故の割合が高く（全体の50%）、また、年齢別では、65歳以上の高齢者が犠牲になる事故の割合がとても高くなっています（全体の48%）。

このため、市町村や関係団体と連携を図りながら、街頭啓発、自転車の安全走行、高齢者向けの啓発リフレットや夜光反射材の頒布などにより交通事故防止に努めています。



街頭啓発

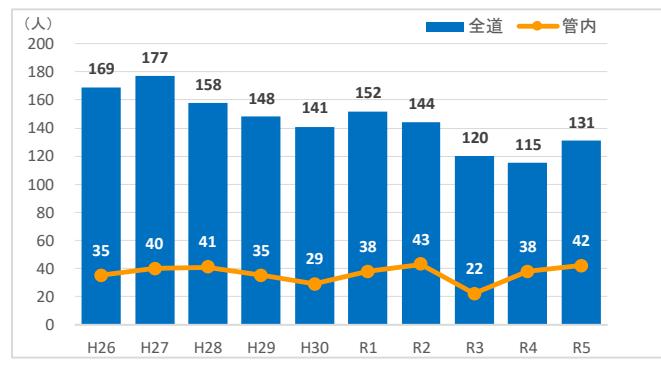


広報車の運行



夜光反射材等啓発物品

## ■交通事故死者数の推移（全道・管内）



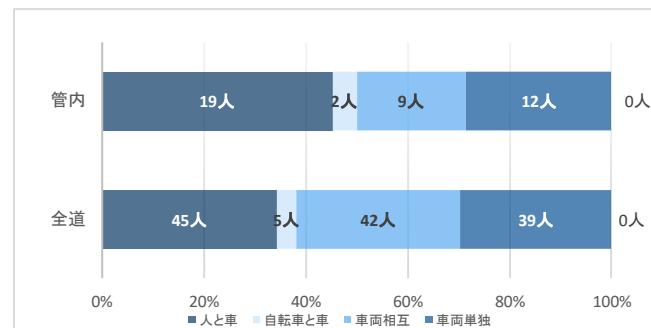
(北海道警察交通部「交通事故統計分析表」)

## ■市町村別交通事故発生状況

項目	令和5年		
	発生件数(件)	死者(人)	傷者数(人)
札幌市	4,592	27	5,256
江別市	189	4	207
千歳市	180	4	224
恵庭市	77	1	91
北広島市	124	1	165
石狩市	129	4	168
当別町	30	1	40
新篠津村	2	0	3
合計	5,323	42	6,154

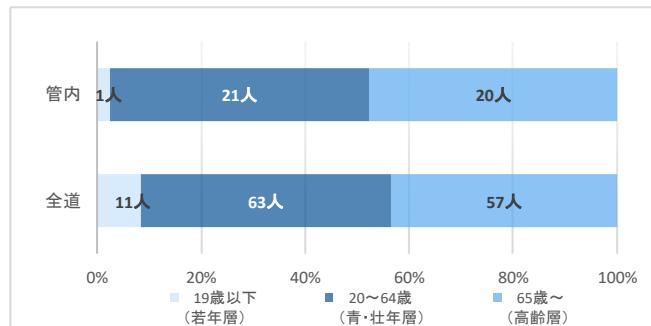
(北海道警察交通部「交通事故統計分析表」)

## ■事故類型別死者数



(北海道警察交通部「交通事故統計分析表」)

## ■年齢別死者数



(石狩振興局保健環境部環境生活課調べ)